

年 報

平成 30 年度版

(公財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

序

当センターは昭和52年に財団法人岩手県埋蔵文化財センターとして設立され、それ以来岩手県教育委員会のご指導や関係機関のご協力のもと、本県における開発事業に伴う発掘調査推進の一翼を担ってまいりました。

平成30年度は、当埋文センターでは、復興道路に位置付けられた三陸沿岸道路、それに接続する復興支援道路の整備に関連した埋蔵文化財調査を多く手がけてまいりました。

また、北上川緊急治水対策事業、経営体育成基盤整備事業、ダム貯水池の護岸工事、道路改良事業に伴う調査も行いました。

このように、復興関連調査を中心としながらも防災や安全対策が求められる緊急な公共事業にも対応し、限られた時間の中で調査が終了できるよう、センターOB職員の協力などの人材確保や、的確で効率的な調査を進めるための機器の導入など、発掘調査の迅速化に努めてまいりました。

被災された沿岸の市町村では、多くの被災者の方々に発掘作業に従事していただいたほか、現地説明会などで遺跡の調査成果を確認してもらい、計画どおりに事業予定地を委託者に引き渡すよう努めました。当センターの調査が多くの方々の協力のもとに進められ、復興事業の推進だけでなく埋蔵文化財への理解にも貢献していることを強く感じております。

本書は、当該年度に実施した当センターの発掘調査・整理・報告書刊行、遺物の活用、普及啓発、研究等の業務成果を集約したものです。

業務全般について、関係の皆様よりご意見・ご批判などを賜れば幸いです。

令和元年7月

(公財) 岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター
所長 佐々木一成

目 次

序

I 埋蔵文化財センターの概要	1
1 設立の主旨	1
2 沿革	1
3 組織	2
4 職員数の推移	3
5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)の推移	3
6 受託事業費の推移	3
II 事業の概要	4
1 管理業務	4
(1)受託事業	4
(2)研修、諸会議等	4
2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務	4
(1)発掘調査業務	4
(2)整理業務	5
(3)報告書発刊業務	8
3 普及業務	13
(1)受託業務	13
①埋蔵文化財展	13
②埋蔵文化財発掘調査技術講習会	13
③埋蔵文化財公開講座	13
④岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」の発行	14
⑤資料保管・管理	15
(2)自主事業	15
①復興発掘調査展	15
②遺跡報告会	15
③体験教室『夏休み！みんなで考古学者2018』	15
④資格取得	16
⑤研 修	16
⑥発 刊	17
⑦図書管理	18
⑧所内展示	18
⑨ホームページ運営	18
⑩広報活動	18
⑪遺跡見学・体験学習・教職員研修・資料貸出・現地説明会等	19
4 外部協力・執筆	23
(1)講演・研究発表・報告・会議・指導	23
(2)執筆	23
職員名簿	24
アクセス	25

I 埋蔵文化財センターの概要

1 設立の主旨

豊かな自然に恵まれた岩手県は旧石器時代以来生活の舞台となっており、「埋蔵文化財の宝庫」と呼ばれるほど数多くの文化遺産が受け継がれてきました。それは、時に縄文人の作ったおびただしい数の土偶であったり、12世紀の東日本最大の都市「平泉遺跡群」であったりします。

一方、高速交通網の整備をはじめ多くの開発事業が促進され、これにより遺跡の発掘調査が急増し、調査体制の充実や出土遺物の整理・収蔵を図る施設の建設が要請されることになりました。

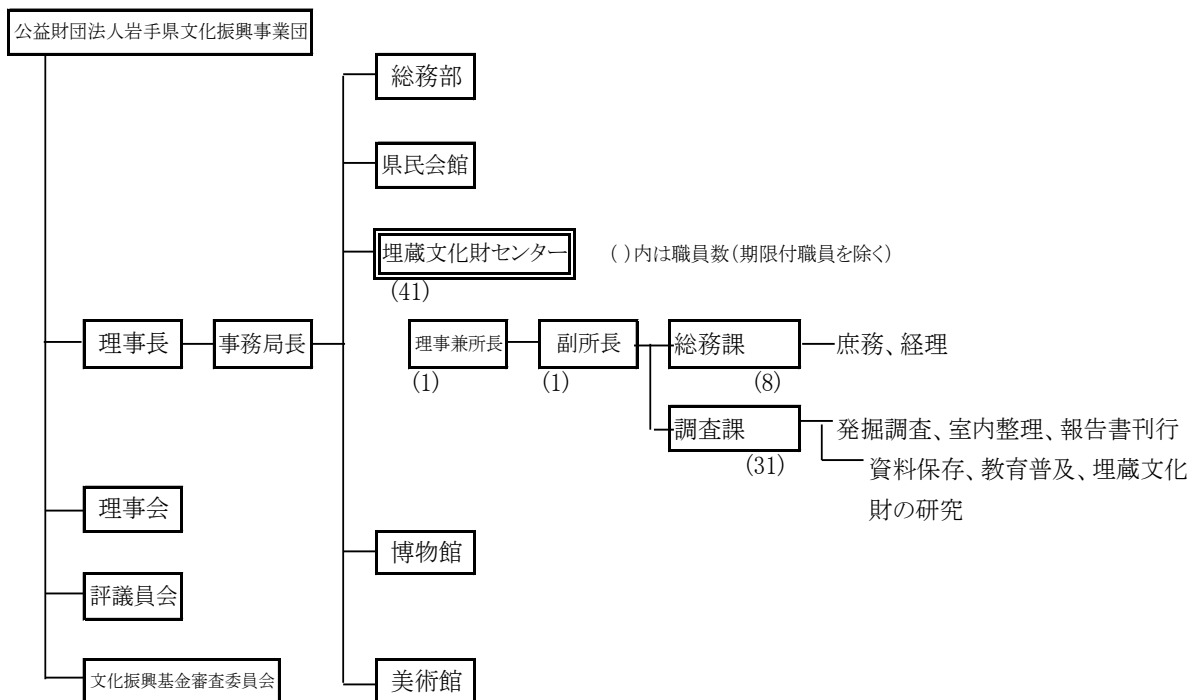
公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターは、このような状況に対処するために設立され、埋蔵文化財の調査、研究、保護思想の普及・啓発などを総合的に行っています。

2 沿革

昭和52年4月	財団法人岩手県埋蔵文化財センター設立。組織は総務課、調査課の二課体制 盛岡市向中野39番地の盛岡家畜保健衛生所の旧用地 1,383㎡、旧建物 374㎡ (事務所建 326㎡、車庫 32㎡、雑屋建 16㎡)を借り受け事務所とした
昭和53年10月	所長室、事務室等の管理棟(プレハブ)及び収蔵庫(プレハブ)を建築
昭和54年2月	第1回埋蔵文化財展(市町村巡回)を開催(盛岡市)
昭和55年1月	第1回埋蔵文化財公開講座を開催(盛岡市)
昭和56年4月	岩手県立埋蔵文化財センター庁舎完成(盛岡市下飯岡11地割185番)。同庁舎の 一部を借受け事務所を移転。資料課を新設し三課体制となる
昭和59年11月	機材収蔵庫(旧北プレハブ棟、2階建 580㎡)をリースにより設置
昭和60年3月	第24回理事会において、財団法人の解散と残余財産を新財団法人に引き継ぐこ とに決定
昭和60年4月	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる 総務課を管理課に改称。管理課、調査課、資料課の体制となる
平成2年4月	隣接の教育センター分館を収蔵庫(960㎡)として借用
平成2年11月	室内整理作業棟(旧南プレハブ2階建 660㎡)をリースにより設置
平成8年3月	県予算により整理作業棟(呼称：南プレハブ 2階建プレハブ、654.76㎡)と収 蔵庫(平屋建プレハブ 327㎡)2棟建設 教育センター分館収蔵庫取り壊しに伴い出土品を移動
平成9年8月	プレハブ棟に冷房機を設置
平成11年4月	岩手県立埋蔵文化財センターの施設管理運営業務を受託 調査課を調査第一課に、資料課を調査第二課に改称
平成12年2月	北山倉庫(旧盲学校校舎)に出土品の一部を移動
平成12年8月	機材収蔵庫(プレハブ2階建、リース物件)を建替え 本館改修(屋根、外壁)工事及び浄化槽改修工事を実施
平成13年6月	本館冷房設備設置工事を実施
平成13年9月	水道配水管漏水補修工事を実施
平成14年9月	旧衛生研究所に出土品の一部を移動
平成15年10月	本館耐震診断調査を実施

平成17年 3月	自家発電設備補修工事を実施
平成18年 4月	管理課を総務課に改称
平成22年 4月	旧南プレハブ老朽化のため解体
平成23年 4月	公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる
平成24年 4月	調査第一課及び調査第二課を調査課に統合
平成25年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員の3名及び岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員7名とOB職員3名の任用
平成25年11月	盛岡市向中野3丁目18-35に事務所を借り室内整理室の分室とする(～26年3月)
平成26年 2月	室内整理作業棟(呼称：南プレハブ 平屋建・334.65㎡、リース物件)の増設
平成26年 4月	東日本大震災復興調査のため、他法人からの出向職員6名と岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員8名とOB職員6名の任用
平成26年11月	盛岡市西仙北1丁目16-10に事務所を借り室内整理室の分室とする(～継続)
平成27年 4月	東日本大震災復興調査のため、他法人からの出向職員5名と岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員5名とOB職員5名の任用
平成28年 4月	東日本大震災復興調査のため、他法人からの出向職員3名と岩手県から2名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員1名とOB職員4名の任用
平成29年 2月	矢巾町大字広宮沢第10地割506番地2に事務所等を借り室内整理室の分室とする(～平成31年3月)
平成29年 4月	東日本大震災復興調査のため、他法人からの出向職員4名と岩手県から1名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員3名とOB職員2名の任用
平成30年 4月	東日本大震災復興調査及び支援のため、期限付調査員3名とOB職員2名の任用及び福島県文化振興財団に職員1名の派遣
平成30年10月	東和高校に出土品の一部を移動

3 組 織

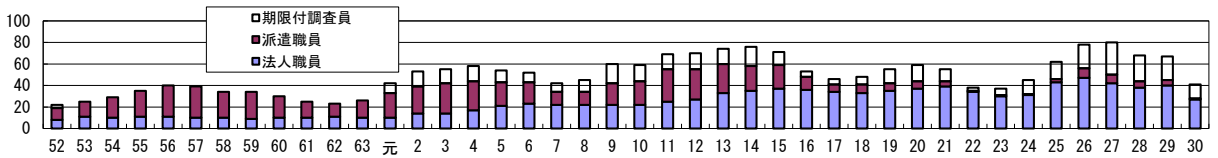


法人職員27名、派遣職員1名(教員職1名)、期限付調査員13名の41名

4 職員数の推移(昭和52年度～平成30年度)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9
法人職員	8	11	10	11	11	10	10	9	10	10	11	10	10	14	14	17	21	23	22	22	22
派遣職員	11	14	19	24	29	29	24	25	20	15	12	16	23	25	28	27	22	20	12	12	20
期限付調査員	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14	13	14	11	9	8	11	18
計	22	25	29	35	40	39	34	34	30	25	23	26	42	53	55	58	54	52	42	45	60

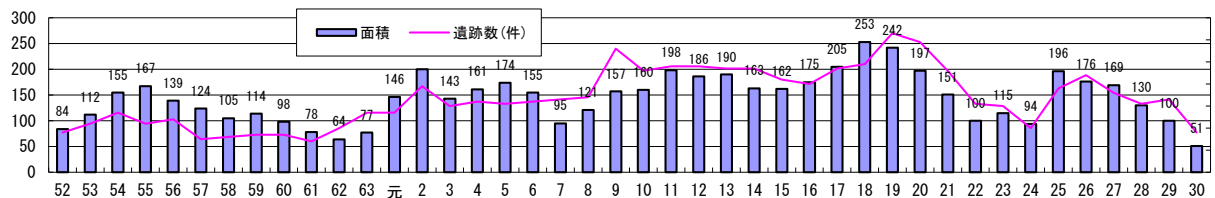
年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
法人職員	22	25	27	33	35	37	36	34	33	35	37	39	34	30	31	43	47	42	38	40	27
派遣職員	22	30	28	27	23	22	12	7	8	7	7	5	1	1	1	3	9	8	6	5	1
期限付調査員	15	14	15	14	18	12	5	5	7	13	15	11	3	6	13	16	22	30	24	22	13
計	59	69	70	74	76	71	53	46	48	55	59	55	38	37	45	62	78	80	68	67	41



5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)の推移(昭和52年度～平成30年度)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9
調査面積	84	112	155	167	139	124	105	114	98	78	64	77	146	200	143	161	174	155	95	121	157
遺跡数	18	22	27	22	24	15	16	17	17	14	20	27	27	39	30	32	31	32	33	34	56

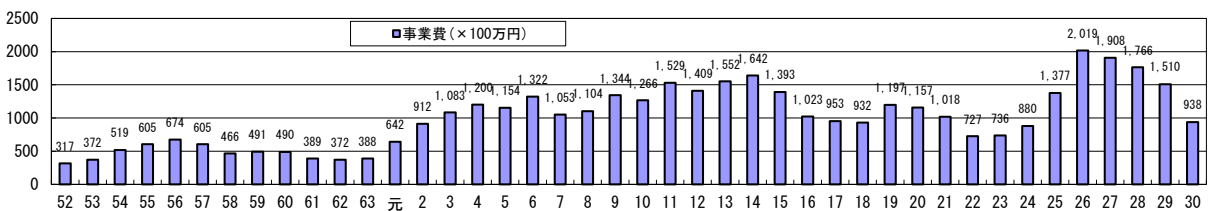
年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
調査面積	160	198	186	190	163	162	175	205	253	242	197	151	100	115	94	196	176	169	130	100	51
遺跡数	46	48	48	47	47	42	40	47	49	63	59	46	31	30	20	38	44	36	31	33	18



6 受託事業費の推移(昭和52年度～平成30年度)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9
事業費	317	372	519	605	674	605	466	491	490	389	372	388	642	912	1,083	1,200	1,154	1,322	1,053	1,104	1,344

年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
事業費	1,266	1,529	1,409	1,552	1,642	1,393	1,023	953	932	1,197	1,157	1,018	727	736	880	1,377	2,019	1,908	1,766	1,510	938



Ⅱ 事業の概要

1 管理業務

(1) 受託事業（施設の管理運営）

① 岩手県立埋蔵文化財センターの管理運営業務受託

本館、室内整理作業棟、収蔵庫2棟、器材収蔵庫棟等の施設・設備の管理保全

② 出土遺物の保管管理

特別収蔵庫（本館2階）、一般収蔵庫（本館3階）、収蔵庫A・B棟のほか、北山収蔵庫（旧盲学校校舎）等を借り受け遺物を保管

(2) 研修、諸会議等（専門職員研修等を除く）

① 職員研修〈事業団研修〉

特別研修「岩手県の文化芸術施策の動向、岩手県文化振興事業団に期待すること」等 2月8日

② 安全衛生関係

安全衛生委員会 月1回(労働安全衛生法第18条第1項に基づく設置)

専門研修 5月25日 「救急救命講習」(AEDの使い方、その他応急措置) 5月25日

安全及び衛生管理体制の充実

第2種衛生管理者準備講習(受講者2名)

地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習(受講者1名)

有機溶剤作業主任者講習(受講者8名)

化学物質のリスクアセスメントセミナー(受講者10名)

甲種防火管理新規講習(受講者1名)

③ 諸会議

事業団理事会 5月24日、7月29日、9月25日、11月14日、3月19日

事業団評議会 6月24日

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課・事業団 埋蔵文化財業務連絡会 5月2日

2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務

(1) 発掘調査業務

平成30年度の発掘調査は、当初18遺跡、46,568㎡で開始し、最終的には18遺跡、51,405㎡の発掘調査を実施した。調査遺跡は、沿岸部を中心に3市4町3村に及んでいる。前年度の最終結果と比較すると遺跡数で15遺跡減、面積で48,138㎡の減少となっており、ほぼ半減した状況である。発掘調査事業は全体的に減少傾向にある。通常の開発事業に関連する調査は、11遺跡で面積約3万㎡、全受託面積の約6割を占めている。内容的には、北上川の築堤関連事業、農地整備事業、平成28年に発災した台風10号関連の災害復旧事業関連である。一方、復興関連調査は7遺跡、面積で約2万2千㎡、受託総面積の約4割を占めている。多くは三陸沿岸道路建設に関連する調査である。平成24年度から続いていた東日本大震災関連の復興に関わる発掘調査もほぼ終了に近づいてきている。

縄文時代では、継続調査となった洋野町に所在する田ノ端Ⅱ遺跡で前期を中心とした竪穴住居、竪穴状遺構、土坑類が複数見つかり、縄文時代前期から後期にかけて形成された集落であること

が明らかとなった。同じ町内の宿戸遺跡は、延べ3ヶ年にわたり調査が行われ、縄文時代早期～後期、縄文時代後期から弥生時代と時代を異にした遺構の分布が見られた。棺の可能性が考えられる倒立の状態で見つかった埋設土器が見つかったほか、縄文時代の広域の交流を示す、北海道平取町産「アオトラ石」製の磨製石斧が出土しており、縄文人の広域交流を示す遺物として注目される。同じく洋野町の鹿糠浜Ⅰ遺跡・北玉川遺跡・板橋Ⅱ遺跡・サンニヤⅢ遺跡でも、縄文時代を中心とした遺構遺物が見つかっている。板橋Ⅱ遺跡では、縄文時代後期前葉を中心とした住居や貯蔵穴が見つかっているほか、38基の陥し穴状遺構が見つかっており狩猟場として機能していたことが確認された。

古墳時代～平安時代・中世では、野田村の中平遺跡の今年度の調査で、円形周溝1基・方形周溝1基が見つかった。今年度を含む4ヶ年の調査で当該期の住居が16棟見つかっている。他に、洋野町の鹿糠浜Ⅰ遺跡で奈良時代の竪穴住居2棟、盛岡市の八幡館跡で平安時代の竪穴住居1棟、九戸村の沖遺跡で奈良時代の竪穴住居1棟、花巻市の万丁目遺跡で古代の竪穴住居3棟が見つかっている。

中世では、平泉町の祇園Ⅰ遺跡では12世紀代の溝跡1条、花巻市の万丁目遺跡では中世の竪穴建物8棟、中世の掘立柱建物168棟、土坑類、井戸、苑池、溝、カマド状遺構が見つかった。多くは、溝で区画された南北約50m、東西約80mの内部に位置している。大型の掘立柱建物、竪穴建物、苑池も存在しており溝で区画された居館の存在が想定されている。居館はかわらけや中世陶磁器等の出土から12世紀から15世紀前半の長期間に渡りに機能していたと考えられている。他に中世の調査事例として、紫波町に所在する南日詰大銀Ⅱ遺跡、北日詰城内Ⅰ遺跡、北条館跡の3遺跡が挙げられる。北上川緊急治水対策事業に伴い実施された調査である。3遺跡とも北上川西岸の標高91～93m前後の河岸段丘上に立地している。北上川の支流の平沢川に並行するように南側から南日詰大銀Ⅱ遺跡、北日詰城内Ⅰ遺跡、北条館跡と連続して位置している。南日詰大銀Ⅱ遺跡では、12世紀のかわらけの他中国産陶磁器、常滑・渥美産の国産陶器が出土しており城内でも重要な居館であったことが窺われる。北日詰城内Ⅰ遺跡からは、掘立柱建物、竪穴建物が見つかっており隣接する北条館跡との密接な関連があると想定されている。北条館跡では、上端幅6～8m・深さ1.5～2.5mの館を囲んでいた3条の大きな堀が見つかっている。館の主体部は一段高い北側にあり次年度以降に調査予定である。北上市に所在する二子城跡は中世和賀氏の本城と伝えられる当該地方最大の城館跡である。今回の調査では縄文時代の陥し穴状遺構、縄文～弥生時代の土坑類・土器類が見つかった。

継続事業の県教育委員会からの受託事業である柳之御所遺跡発掘調査事業に加え、今年度は復興関連の発掘調査支援として、(公財)福島県文化振興財団へ1名の職員を派遣した。

(2)整理業務

今年度は12遺跡の室内整理を受託した。国関係では沢田Ⅲ遺跡他7遺跡について三陸国道事務所から、杉の堂遺跡、田鎖車堂前遺跡の2遺跡について県から受託した。市町村関係では、長谷堂貝塚、平清水Ⅲ遺跡について、それぞれ大船渡市、野田村から受託している。

平成 30 年度発掘調査遺跡位置図

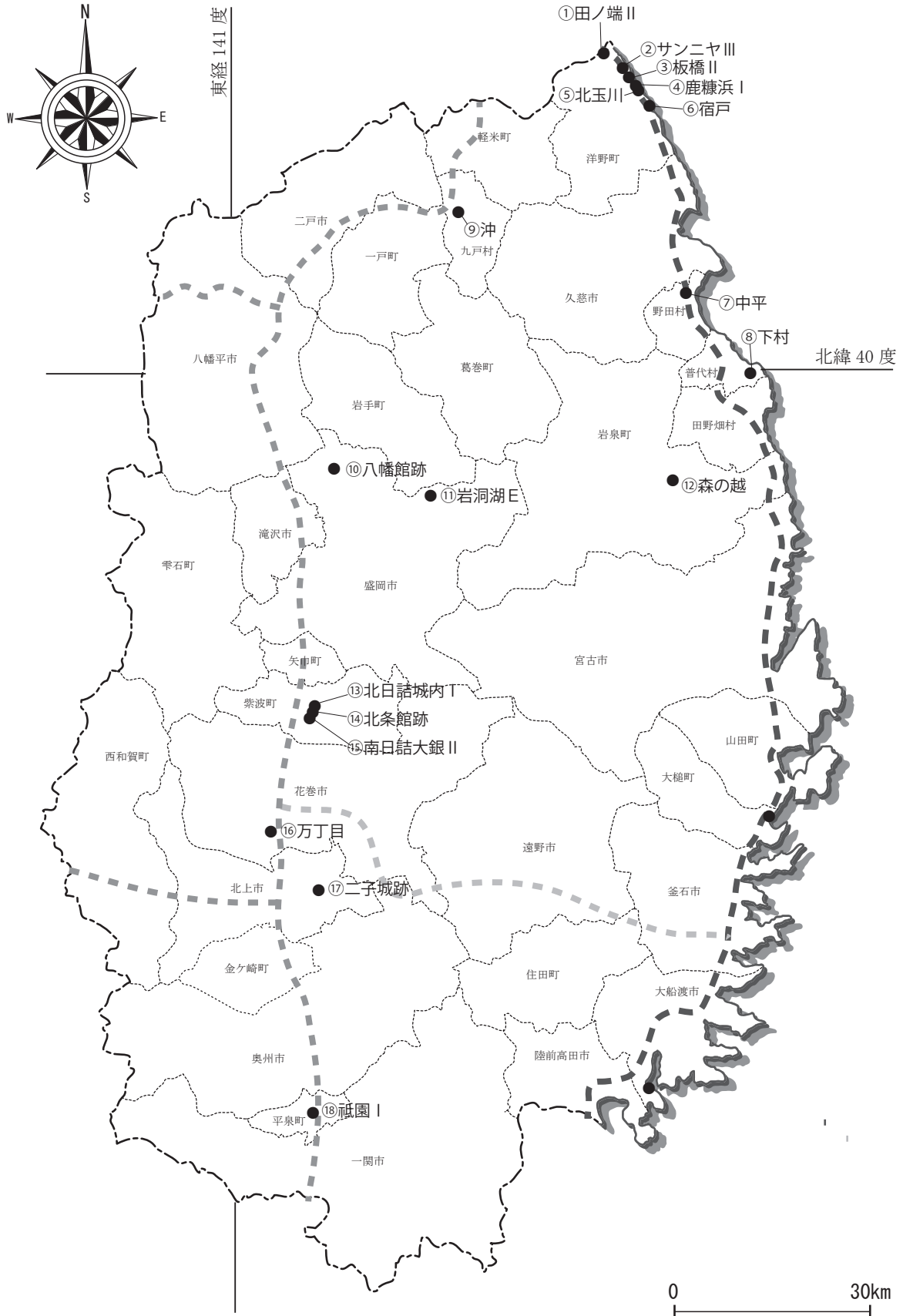


表 1 平成30年度埋蔵文化財発掘調査事業一覧

No.	遺跡名	所在地	調査面積 (㎡)	調査期間	事業名	調査成果
1	田ノ端Ⅱ遺跡	洋野町	2,000	4/4～6/22	三陸沿岸道路	遺構 縄文時代：竪穴住居跡 32 竪穴状遺構 5 土坑 21 陥し穴状遺構 4 遺物 縄文時代：土器コテナ大 1 石器コテナ中 1
2	サンニヤⅢ遺跡	洋野町	2,000	4/4～9/28	三陸沿岸道路	遺構 縄文時代：陥し穴 1 遺物 縄文時代：土器 1
3	板橋Ⅱ遺跡	洋野町	8,732	5/1～10/31	三陸沿岸道路	遺構 縄文時代：竪穴住居 12 陥し穴 12 土坑 19 遺物 縄文時代：土器 コテナ大 5 石器 コテナ中 8.5 土偶 3 鐙型土製品 1 石製品 3 コハク数片 水晶 6 時期不明：陶磁器 袋 0.5
4	鹿糠浜Ⅰ遺跡	洋野町	1,350	4/5～5/31	三陸沿岸道路	遺構 縄文時代：土坑 1.9 奈良時代：竪穴住居跡 2 近現代：炭窯 遺物 縄文時代：土器 コテナ大 1/2 石器コテナ小 1 奈良時代：土師器コテナ大 3 石器コテナ小 2 土製品 10 鉄製品 3
5	北玉川遺跡	洋野町	980	11/1～11/22	三陸沿岸道路	遺構 縄文時代：竪穴住居 4 棟 土坑 3 基 遺物 縄文時代：土器コテナ大 0.5 石器コテナ中 2 コハク 1
6	宿戸遺跡	洋野町	6,040	4/4～7/31	三陸沿岸道路	遺構 縄文時代：住居跡 6 土坑 21 陥し穴 2 埋設土器 3 弥生時代：住居跡 1 土坑 1 遺物 縄文・弥生時代 土器コテナ大 9 石器コテナ大 11 土偶 1 銭貨 2
7	中平遺跡	野田村	653	4/5～4/26	三陸沿岸道路	遺構 縄文時代：陥し穴状 4 古代：円形周溝 1 方形周溝 1 遺物 縄文土器 1 片 石鏃 1 土師器 1 袋 須恵器 1 片
8	下村遺跡	普代村	869	8/1～10/5	村道拡幅 (黒崎地区)	遺構 縄文時代：竪穴住居 13 土坑 20 陥し穴 2 柱穴状土坑 3 遺物 縄文時代：土器 コテナ大 5 石器 コテナ中 5 コハク 2 近・現代 陶磁器 袋小 1
9	沖遺跡	九戸村	1,742	9/3～10/30	地域連携道路 一般国道 340 号 長興寺地区	遺構 奈良時代：住居跡 1 土坑 2 近世：柱穴 311 遺物 古代：30 近世：陶磁器 20 古銭 13 時期不明：石器 2
10	八幡館跡	盛岡市	3,317	5/1～8/9	経営体育成 基盤整備事業武 道地区	遺構 古代：住居跡 1 溝 2 古代～中世：溝 6 柱穴状小穴 20 自然流路 3 中世：堀 1 時期不明：土坑 17 遺物 縄文時代：土器袋小 1 古代：土師器 須恵器 コテナ小 1 近世以降：陶磁器袋小 1 時期不明：鉄釘 1
11	岩洞湖E遺跡	盛岡市	1,052	8/20～9/27	岩洞ダム貯水池 護岸工事	遺構 時期不明：柱穴状ピット 1
12	森の越遺跡	岩泉町	300	5/1～5/31	災害公営住宅	遺構 縄文時代：掘立柱建物跡 2 土坑 12 柱穴 90 遺物 縄文時代：土器 20 石器 1
13	北日詰城内Ⅰ遺跡	紫波町	1,190	4/16～9/28	北上川緊急 治水対策事業	遺構 中世：竪穴建物 4 土坑 15 焼土 1 柱穴状土坑 155 溝 14 遺物 陶磁器 コテナ小 1 かわらけ 袋小 1 銭貨 2
14	北条館跡	紫波町	3,700	6/18～11/15	北上川緊急 治水対策事業	遺構 中世以降 カマド状遺構 2 炉跡 2 土坑 12 柱穴状土坑 106 溝跡 3 遺物 陶磁器コテナ中 1 かわらけコテナ中 2 石器コテナ小 1 石製品 1 木製品袋小 1
15	南日詰大銀Ⅱ遺跡	紫波町	1,380	4/16～8/31	北上川緊急 治水対策事業	遺構 平安時代：竪穴建物 1 平安時代末：溝 2 中世：カマド状遺構 6 時期不明土坑 19 掘立柱建物 30 建物構成柱穴 512 遺物 縄文時代：土器・石器 コテナ小 1 平安時代：土師器・須恵器他コテナ大 5 中世：陶磁器他コテナ小 1

No.	遺跡名	所在地	調査面積 (㎡)	調査期間	事業名	調査成果
16	万丁目遺跡	花巻市	11,500	4/6 ~ 10/31	経営体育成基盤 整備事業 万丁目地区	遺構 縄文時代：炉 1 陥し穴 17 古代：竪穴建物 8 中世： 掘立柱建物 168 (柱穴 4200) 竪穴建物 8 カマド状遺構 24 池 1 井戸 1 溝 19 土坑 83 遺物 縄文時代：土器 コンテナ 1 石器 コンテナ小 1 中世：土 師器・須恵器コンテナ大 1 石器コンテナ小 1 陶磁器袋小 1 陶磁 器 袋小 1
17	二子城跡	北上市	1,655	11/1 ~ 12/20	第一北上中部 工業用水道 浄水場建設事業	遺構 縄文時代：陥し穴 6 縄文～弥生時代：土坑 15 中世以降： 堀 1 溝 4 柱穴 24 遺物 縄文時代：土器コンテナ小 1 弥生時代：土器コンテナ小 1 石器コンテナ中 1 土製品 1 近世：陶器 1
18	祇園 I 遺跡	平泉町	2,945	6/1 ~ 8/24	スマートインター 平泉	遺構 古代～中世：溝 4 陥し穴 2 近世：溝 1 時期不明： 柱穴 23 遺物 縄文時代：土器袋小 1 石器袋小 1 かかわらけコンテナ小 1 陶器コンテナ小 1 銭貨 2 木杭 11 近世陶磁器 3

(3) 報告書発刊業務

平成30年度は、第693集から第708集の16冊の発掘調査報告書を刊行した。

表2 平成30年度発掘調査報告書発刊一覧

巻号	遺跡名	所在地	委託者	編著者名	総頁数	印刷業者	調査年度等
693	町屋敷遺跡	奥州市	岩手河川国道事務所	羽柴直人	398	トーバン印刷 (株)	平成 29 年度
694	力持遺跡	普代村	三陸国道事務所	星 雅之	840	(株) 吉田印刷	平成 26・28 年度
695	伏津館跡	野田村		北田 勲	240	第一印刷 (有)	平成 25・26・29 年度
696	山口駒込 I 遺跡	宮古市		溜 浩二郎	520	川口印刷工業 (株)	平成 27・28 年度
697	南鹿糠 I 遺跡	洋野町		小林弘卓	124	(株) 五六堂印刷	平成 27・29 年度
698	上のマッカ遺跡	洋野町		福島正和	136	(有) 小松茂印刷所	平成 27・29 年度
699	小田ノ沢遺跡	洋野町		村木 敬	170	(有) セーコー印刷	平成 28 年度
700	長途遺跡	普代村		米田 寛	152	(株) 阿部印刷	平成 28 年度
701	荒津内遺跡	洋野町		西澤正晴	88	鈴木印刷 (株)	平成 29 年度
702	鹿糠浜 II 遺跡	洋野町		村木 敬	228	(株) 橋本印刷	平成 29 年度
703	南八木遺跡	洋野町		福島正和	128	鈴木印刷 (株)	平成 29 年度
704	田屋遺跡	大槌町		南三陸国道事務所	米田 寛	220	(株) 光文社
705	小白浜遺跡	釜石市	米田 寛		152	(有) セーコー印刷	平成 27・28・29 年度
706	挟田館跡	大槌町	羽柴直人		88	(株) 橋本印刷	平成 28・29 年度
707	内田貝塚	大船渡市	沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター	須原 拓	436	杜陵高速印刷 (株)	平成 29 年度
708	平成 30 年度発掘調査報告書：祇園 I 遺跡・岩洞湖 E 遺 跡・八幡館跡・沖遺跡・森の越遺跡第 36 次 ほか 13 遺跡の調査概報				134	鈴木印刷 (株)	平成 30 年度



宿戸遺跡（洋野町）



板橋Ⅱ遺跡（洋野町）



北条館跡・北日詰城内Ⅰ遺跡・南日詰大銀Ⅱ遺跡（紫波町）



万丁目遺跡（花巻市）



宿戸遺跡：晩期住居調査風景



宿戸遺跡：陥し穴調査風景



板橋Ⅱ遺跡：溝状の陥し穴



板橋Ⅱ遺跡：縄文時代後期初頭～前葉の土器



南日詰大銀Ⅱ遺跡：区画溝



北条館跡：井戸跡？



万丁目遺跡：持仏堂と推測される建物跡



万丁目遺跡：12～15世紀の国産陶器



下村遺跡：土坑断面



森の越遺跡：土坑調査風景



中平遺跡：円形周溝



鹿糠浜 I 遺跡：竪穴住居



田ノ端 II 遺跡：重複する竪穴住居



祇園 I 遺跡：作業風景



二子城跡：雪の中の作業風景



八幡館跡：竪穴作業風景

3 普及業務

(1) 受託業務

① 埋蔵文化財展

第39回埋蔵文化財展は、平成30年11月22日（木）～24日（土）に陸前高田市コミュニティホールを会場に、事業団プレゼンツ「文化・芸術が集うとき in 陸前高田市」の一環として、県民会館、博物館、美術館とともに行われた。埋蔵文化財センターは、復興関連事業に伴う緊急調査として陸前高田市では花館跡・高田城跡・西和野Ⅰ遺跡・上長部館跡の4遺跡で発掘調査を行った。調査の結果、花館跡と高田城跡からは室町時代の遺構や遺物、西和野遺跡では平安時代の遺構や遺物がみつかった。今回はこれらの出土品を展示した。また、今回は陸前高田市の遺跡だけでなく、県内各地の遺跡から出土した貴重な遺物に親しんでいただくことを目標に、テーマを「いわての宝をみよう！」として、埋蔵文化財センターが調査した岩手県内各地の遺跡の出土資料を展示した。



埋蔵文化財展の様子

② 埋蔵文化財発掘調査技術講習会

毎年、県内の埋蔵文化財担当の職員を対象として発掘調査に必要とされる技術・知識の講習を行っている。今年度は平成30年12月7日（金）に盛岡市の岩手県立博物館を会場に実施した。

今回は岡山理科大学生物地球学部教授富岡直人先生に「遺跡出土骨格・貝殻の分析法－発掘・保存処理・データ化－」のテーマで講習をしていただいた。午前中の講義ののち、午後は実際に出土したウマ遺存体を用いてワークショップを実施した。参加者からは「発掘において遺存体の出土例が多く、適切な保存・分析の方法を知りたかった」ので今回の講習会は貴重な体験となったという感想が寄せられた。参加者は48名であった。



富岡直人先生の講義

③ 埋蔵文化財公開講座

平成31年1月26日（土）にアイーナ7階小田島組☆ほ～るを会場に自主事業の遺跡報告会と同時に東北学院大学准教授竹井英文先生の「魅力あふれる東北の中近世城館」と題した講演を行った。

空前の城ブームもあり、受講者は210名と盛況を呈した。受講者からは、「城郭研究の問題点など難しい内容になりやすいものを、わかりやすく解説されていて、とても良かった」「遺跡報告会の報告遺跡と関連しているテーマでよかった」などの感想が寄せられた。



公開講座の様子



竹井英文先生の講義

④ 所報「わらびて」の発行

6月と2月の年2度、岩手県立埋蔵文化財センター所報『わらびて』を発行している。平成30年度は138号と139号を発行した。

岩手県立埋蔵文化財センター所報 (No.138)
平成30年6月29日 発行

わらびて

138号

杉の堂遺跡から出土した舟形土製品

奥州市水沢区の杉の堂遺跡は、これまでに何度も発掘調査が行われ、縄文時代晩期の遺構や遺物がたくさん発見されています。

平成29年度の調査では、貯蔵穴を掘り戻した土の中から、舟の形状をした「舟形土製品」が出土しました。内面には酸化鉄を主成分とする赤色顔料(ベンガラ)が塗られ、船底には線刻文様が描かれており、特別な遺物であることがうかがえます。こういった舟形土製品は、海の近くだけでなく内陸の遺跡でも見つかっています。杉の堂遺跡でもすぐ東側に北上川が流れていますので、当時の人々はこのような舟に乗って川で漁撈活動をしていたのかもしれない。

【(公財)岩手県立埋蔵文化財センター】

【所報名について】「わらびて」は「藪手刀(わらびてとう)」に由来しています。藪手刀は、奈良～平安時代初期に使われた鉄製の刀で朝鮮半島とわらびの葉を思いがけず似ていることからこう呼ばれます。藪手刀は、弥生時代から出土し、東北地方、特に岩手県で多く出土しています。

138号(平成30年6月29日発行)

138号の内容

- ・平成29年度に市町村が行った県内発掘調査
- ・平成30年度公財岩手県埋蔵文化財センター発掘調査事業計画
- ・平成24～29年度の復興関連調査の成果
- ・他県から派遣された職員の方々からのメッセージ
- ・イベントのお知らせ
- ・人事動向

岩手県立埋蔵文化財センター所報 (No.139)
平成31年2月28日 発行

わらびて

139号

岩手県立埋蔵文化財センターは開設以来発掘調査技術講習会を開催してきました。今年度は、動物遺存体の調査・分析について岡山理科大学の富岡直人教授による講義とワークショップが行われました。

市町村埋蔵文化財担当者16名と(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員32名が受講しました。

この発掘調査技術講習会は、昭和56年から今年で39回開催しており、知見や技術の向上に寄与しています。

主な内容

- ・平成30年度の成果(公財)岩手県埋蔵文化財センター
- ・平成30年度に注目された遺跡
- ・復興支援で福島県へ派遣された文化財担当者からの報告
- ・平成30年度イベントの報告

【所報名について】「わらびて」は「藪手刀(わらびてとう)」に由来しています。藪手刀は、奈良～平安時代初期に使われた鉄製の刀で朝鮮半島とわらびの葉を思いがけず似ていることからこう呼ばれます。藪手刀は、弥生時代から出土し、東北地方、特に岩手県で多く出土しています。

139号(平成31年2月28日発行)

139号の内容

- ・平成30年度発掘調査の成果
- ・平成30年度に注目された遺跡
国史跡 盛岡城跡(盛岡市)、奥州街道跡(北上市)、黒山の昔穴遺跡(九戸村)、無量光院跡(平泉町)
- ・福島県への派遣職員からの報告
- ・イベントの報告

⑤ 資料保管・管理

発掘調査で出土した県保有出土品を整理・管理している。岩手県教育委員会の通知を受け、貸出業務及び市町村への譲与を行っている。平成30年度の譲与はなかった。

(2) 自主事業

① 復興発掘調査展

東日本大震災からの復興工事に伴う発掘調査の成果を地元で公開するため、平成30年9月28日(金)から30日(日)の3日間、山田町中央公民館で『復興発掘調査展 in 山田』を開催した。展示は、山田町から出土した土器を時代ごと展示するとともに、遺跡ごとに写真パネルを展示した。また、遺跡から切り取った製鉄炉そのものも展示した。最終日には3遺跡の遺跡報告会も行った。3日間で509名が来場した。



出土土器の展示



復興発掘遺跡報告会

② 遺跡報告会

遺跡報告会は受託業務の公開講座と同時に、平成31年1月26日(土)にアイーナ7階小田島組☆ほ〜るを会場に開催された。今年度は当センターが発掘した6遺跡と復興支援で職員を派遣している福島県の1遺跡を紹介した。

表4 平成30年度遺跡報告会で報告した遺跡とその内容

報告遺跡	時代と内容	報告者
宿戸遺跡(洋野町)	縄文時代	八木 勝枝文化財専門員
板橋Ⅱ遺跡(洋野町)	縄文時代	野中 裕貴文化財調査員
北条館跡・北日詰城内Ⅰ遺跡・南日詰大銀Ⅱ遺跡・(紫波町)	古代～中世	西澤 正晴文化財専門員
万丁目遺跡(花巻市)	中世～近世	羽柴 直人主任文化財専門員
毛萱館跡(福島県双葉郡富岡町)	中世	杉沢 昭太郎主任文化財専門員

③ 『夏休み! みんなで考古学者2018』

児童を対象に、埋蔵文化財と考古学への興味を深めてもらうため、小学校の夏休みの平成30年7月26日(木)・27日(金)の2日間、当センターを会場に『夏休み! みんなで考古学者2018』を開催した。2日間で約700名の参加があった。

児童は、模擬発掘、土器水洗い、土器パズル(接合)、拓本、測量などの実技体験を行うとともに、展示された土器を観察し、埋蔵文化財に親しんだ。

体験に参加した児童からは

- ・ 「どきパズルがかんたんだったから、らい年はもっとむずかしいをやってみたいです。」
- ・ 「楽しかったです。らいねんもきたいなと思いました。」
- ・ 「いろんなたいけんをして、とても楽しかったです。はっくつごっこでいろんな物ができて、おもしろかったです。」などの感想が寄せられた。



土器パズル体験



模擬発掘

④ 資格取得

- 第二種衛生管理者 2名（主幹兼課長補佐 金子佐知子・文化財専門員 北村 忠昭）
- 有機溶剤作業主任者 8名（課長補佐 星 雅之・高木 晃、主任文化財専門員 羽柴 直人・阿部 勝則・村上 拓、文化財専門員 丸山 直美・村木 敬・村田 淳）
- 地山の掘削及び土止め支保工作業主任者 1名（主任文化財専門員 阿部 勝則）
- 化学物質リスクアセスメントセミナー 10名（主任文化財専門員 溜 浩二郎、文化財専門員 菊池 貴広・福島 正和・八木 勝枝・北田 勲・村上 絵美・小林 弘卓、文化財調査員 野中 裕貴、室内整理事業指導員 村松 紀子・阿部奈緒美）
- 防火管理者 1名（総務課長 猪久保 健一）

⑤ 研修

●専門職員研修

平成30年5月25日（金） 救急救命講習 所長及び各課職員 延べ50名

平成31年2月8日（金） 所内研修「デジタルを活用した報告書作成」

●期限付職員実地研修

平成30年9月21日（金）

●外部研修への派遣

◆文化庁

平成30年8月29日（水）～31日（金） 埋蔵文化財担当職員等研修会 調査課職員 延べ10名

◆独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所

平成30年7月6日（金）～7日（土） 第9回文化財写真技術研究会 調査事務員 吉岡 由哲

平成30年12月13日（木）～20日（木） 平成30年度文化財専門研修「報告書デジタル作成課程」

文化財専門員 八木 勝枝

平成31年1月15日（火）～25日（金） 平成30年度文化財専門研修「史跡等保存活用課程」

文化財専門員 北村 忠昭

◆岩手県立産業技術短期大学校

平成30年6月21日(木)～22日(金)	画像編集基礎	調査事務員	高橋 千里
平成30年6月25日(月)～26日(火)	初級管理・監督者研修	総務事務員	佐々木真貴子
平成30年7月12日(木)～13日(金)	印刷データ作成(中級編)	調査事務員	篠原 理恵
平成30年9月10日(月)～11日(火)	コミュニケーションスキル向上	総務事務員	武田 秀徳
平成30年9月18日(火)～19日(水)	中堅社員研修	総務事務員	築田 智恵
平成30年10月30日(火)～31日(水)	管理監督者研修	課長補佐	高木 晃
平成30年11月28日(水)～29日(木)	Access	主事	松尾 健生
平成31年1月29日(火)～30日(水)	目標管理パワーアップ研修 ExcelVBA入門	主任文化財専門員 総務事務員	村上 拓 館澤 彩
平成31年2月27日(水)～28日(木)	組織活性化創造開発研修	文化財専門員	村木 敬

◆公益財団法人岩手労働基準協会

平成30年11月22日(木)	雇用管理研修	総務事務員	佐々木真貴子・館澤 彩
----------------	--------	-------	-------------

◆全国労働基準関係団体連合会岩手県支部

平成30年9月14日(金)	すぐに役立つ労務管理基礎セミナー	総務事務員	館澤 彩・築田 智恵
---------------	------------------	-------	------------

◆全国公益法人協会東北支部

平成30年5月9日(水)	公益一般財団法人定例講座	主事	松尾 健生
--------------	--------------	----	-------

◆一般財団法人経済調査会

平成30年5月11日(金)	印刷費積算講習会(入門編)	主事	松尾 健生
---------------	---------------	----	-------

⑥ 発刊

●紀要 第38号

当センターの研究紀要として、昭和55(1980)年以来発刊している。今年度は論文5編、研究ノート2編、資料紹介1編を掲載した。

表5 紀要38号の内容

(論文)	
岩手県沿岸地域の大木8a式土器について －浜川目沢田I遺跡の資料から－	須原 拓
東北地方・縄文晩期の土偶関連遺物(4)	金子 昭彦
岩手県における古墳時代～平安時代の赤彩土器研究(3)	米田 寛 高橋 静歩 河本 純一
岩手における土師器製作技術の研究	福島 正和
江戸の南部屋敷(2) －盛岡藩南部家江戸上屋敷の研究2－	中村 隼人 滝尻 侑貴 野田 尚志
(研究ノート)	
県内出土の縄文土器胎土について(5)	河本 純一
竪穴建物に伴う外延溝(3) －古代陸奥国和我・稗縫・斯波郡域の在り方－	山川 純一
(史料紹介)	
盛岡松尾神社所蔵『杜氏職由緒』を読む	吉岡 由哲

●年報 平成29年度版

当センターが平成29年度に実施した発掘調査・整理・報告書刊行、遺物の活用、普及啓発、研究普及等の業務成果記録を掲載した。(A4版28ページ、500部印刷)

⑦ 図書管理

●図書台帳の作成

平成30年度新着図書1,755冊のデータベース化と図書台帳作成を行った。センター設立から平成31年3月末日までの図書受け入れ冊数は65,004冊である。

●図書の整理保管

新着図書の記号ラベル添付と図書カード作成後に整理・収納し図書室に配架した。

●図書の貸出

平成30年度は1,607件の貸出があった。

表6 図書受け入れ冊数

年 度	財団寄贈	県立寄贈	購 入	合 計
平成 21 年度まで	37,580	6,341	4,698	48,619
平成 22 年度	1,833	53	24	1,910
平成 23 年度	1,483	62	79	1,624
平成 24 年度	1,954	166	50	2,170
平成 25 年度	1,734	111	43	1,888
平成 26 年度	1,789	75	148	2,012
平成 27 年度	1,567	46	30	1,643
平成 28 年度	1,527	45	24	1,596
平成 29 年度	1,722	30	35	1,787
平成 30 年度	1,642	16	97	1,755
合 計	52,831	6,945	5,228	65,004

⑧ 所内展示

当センター本館玄関ホールにおいて、当センター保管の旧石器・縄文・弥生・古墳・奈良・平安の遺物資料を展示している。

⑨ ホームページ運営 (URL: <http://www.iwate-maibun.jp/>)

主な項目と内容

- ・「発掘調査」発掘調査の方法や現在発掘中の遺跡・室内整理の状況を進捗状況に合わせて逐次紹介。
- ・「現地説明会・現地公開のご案内」現地説明会のお知らせと開催した説明会のレポートを掲載。
- ・「出土品ギャラリー」これまでに調査した遺跡から出土した遺物の代表的なものを紹介。
- ・「いわての歴史年表」主な遺跡を掲載した年表を掲載。
- ・「イベントレポート」公開講座や遺跡報告会、体験教室など行事の様子を紹介。
- ・「ムービー」センター創設以来の業務の紹介映像
- ・東日本大震災関連の発掘調査に関してはコーナーを設けて検索しやすいように配置している。
- ・平成30年4月から平成31年3月までのアクセス数は29,541件で、月平均2461.75件であった

⑩ 広報活動

●FMいわてのラジオ番組”Posh”内の事業団提供”You Gotta Culture”で月1回程度、現地説明会やイベント等の開催について告知している。

●岩手県広聴広報課の広報活動に応募し、ラジオ、コンビニエンスストア、ショッピングセンター、ツイッター等で、現地説明会やイベント等の開催について広報を行っている。

表7 ラジオ放送による広報活動

放送日	内容	担当者
5月18日	平成30年度の埋蔵文化財センターの事業	金子佐知子主幹兼課長補佐
6月15日	縄文時代のハンター	高木 晃課長補佐
7月20日	夏休み体験教室のお知らせ	丸山 直美文化財専門員
9月7日	復興発掘調査展 in 山田	金子佐知子主幹兼課長補佐
10月12日	現地説明会のお知らせ	金子佐知子主幹兼課長補佐
11月9日	縄文時代の食	阿部 勝則主任文化財専門員
12月14日	今年の調査成果	星 雅之課長補佐
1月18日	埋蔵文化財公開講座	羽柴 直人主任文化財専門員

⑪ 遺跡見学・体験学習・教職員研修・資料貸出・現地説明会等

●遺跡見学等

表8 遺跡見学等（一般・研究者・関係者等）

No.	受入日	遺跡名	機関名（申請者）	人数	内容
1	4月11日	鹿糠浜Ⅰ	洋野町教育委員会	1	見学
2	5月1日	鹿糠浜Ⅰ	洋野町教育委員会	1	見学
3	5月10日	森の越	岩泉町教育委員会	1	見学
4	5月11日	鹿糠浜Ⅰ	洋野町教育委員会	1	見学
5	5月15日	北条館	紫波町教育委員会	3	見学
6	5月16日	鹿糠浜Ⅰ	八戸市教育委員会	1	見学
7	5月17日	鹿糠浜Ⅰ	洋野町教育委員会	1	見学
8	5月23日	森の越	岩泉町教育委員会	1	見学
9	6月28日	南日詰大銀Ⅱ	日詰館懇話会、紫波町教委	25	見学
10	6月28日	北条館	ひづめ館跡談話会	25	見学
11	6月28日	北条館	ひづめ館跡談話会	25	見学
12	7月12日	八幡館	盛岡市教育委員会	1	見学
13	7月18日	南日詰大銀Ⅱ	福島県文化振興事業団	4	見学
14	7月18日	北条館	福島県文化振興財団	2	見学
15	7月18日	北条館	福島県文化振興財団	2	見学
16	7月19日	南日詰大銀Ⅱ	岩手日報社	1	取材
17	7月19日	北条館	岩手日報社	1	取材
18	9月6日	北条館	個人	1	見学
19	9月12日	北条館	赤石公民館	20	見学
20	9月12日	北条館	赤石公民館	20	見学
29	9月28日	下村遺跡	元秋田県埋蔵文化財センター職員	2	見学
21	10月4日	板橋Ⅱ	岩手日報社	1	取材
22	10月5日	板橋Ⅱ	デーリー東北	1	取材
23	10月16日	板橋Ⅱ	洋野町教育委員会	3	見学
24	10月17日	板橋Ⅱ	みどりが丘保育園	20	見学
25	11月6日	北条館	中央懇話会	33	見学
26	11月21日	北玉川	洋野町教育委員会	3	見学
27	12月4日	二子城	北上市教育委員会	2	見学
28	12月18日	二子城	北上市企画部（総務課市史編纂室）	2	見学
計28件				204名	

●体験学習

表9 体験学習（児童・生徒・一般）

No.	受入日	場 所	所属学校名・機関	人数	目 的
1	10/1～12	センター	盛岡青松支援学校	1	職場体験
計1件				1名	

●教職員研修受け入れ

表10 教職員研修

No.	受入日	遺跡名	所属学校名	人 数	備 考
1	7月31日	南日詰大銀Ⅱ	盛岡市立黒石野中学校	1	中堅教諭等資質向上研修
2	7月31日	南日詰大銀Ⅱ	岩手県立盛岡青松支援学校	1	中堅教諭等資質向上研修
3	7月31日	南日詰大銀Ⅱ	盛岡市立見前南中学校	1	中堅教諭等資質向上研修
4	7月31日	祇園Ⅰ遺跡（平泉町）	一関市立千厩小学校	1	中堅教諭等資質向上研修
計4件				4名	

●図書閲覧、資料借用・返却、資料実見、センター施設見学等

表11 図書閲覧、資料借用・返却、資料実見、センター施設見学等

No.	受入日	申請者	人 数	内 容
1	4月11日	津南町教育委員会	2	資料貸出
2	4月26日	個人	1	図書閲覧
3	5月1日	文化庁	1	資料貸出
4	5月2日	盛岡市立向中野小学校	1	資料貸出
5	5月11日	盛岡市立向中野小学校	1	資料返却
6	5月21日	洋野町立大野中学校	1	資料貸出
7	5月29日	個人	1	図書閲覧
8	5月30日	個人	1	図書閲覧
9	6月2日	奥州市教育委員会	2	資料貸出
10	6月26日	洋野町立大野中学校	1	資料返却
11	6月27日	個人	2	施設見学
12	6月28日	個人	2	施設見学
13	6月29日	東北歴史博物館	2	資料貸出
14	7月17日	津南町教育委員会	2	資料返却
15	7月20日	花巻市博物館	2	資料貸出
16	8月20日	個人	1	資料実見・写真撮影
17	8月21日	是川縄文館	1	資料貸出
18	8月22日	個人	2	施設見学
19	8月23日	県立博物館	1	資料貸出
20	9月7日	奥州市教育委員会	2	資料返却
21	9月10日	花巻市博物館	2	資料貸出
22	9月11日	県立博物館	1	資料貸出
23	9月11日	山田町教育委員会	1	資料貸出
24	9月19日	県立博物館	1	資料返却
25	9月25日	個人	1	図書閲覧
26	9月26日	個人	3	資料実見・写真撮影
27	10月1日	個人	1	図書閲覧
28	10月9日	東北歴史博物館	2	資料返却
29	10月18日	県立博物館	1	資料実見・写真撮影
30	10月22日～24日	個人	1	資料実見・写真撮影
31	10月22日	めんこいエンタープライズ	2	資料撮影
32	10月23日	個人	1	資料実見・写真撮影
33	10月25日	個人	1	資料実見・写真撮影
34	10月30日	県立博物館	1	資料返却

No.	受入日	申請者	人数	内容
35	10月30日	個人	1	図書閲覧
36	11月21日	個人	1	資料実見・写真撮影
37	11月30日	花巻市博物館	2	資料返却
38	11月30日	個人	3	資料実見・写真撮影
39	12月5日	個人	1	資料実見・写真撮影
40	12月6日	是川縄文館	1	資料返却
41	12月17日	個人	1	資料実見・写真撮影
42	1月8日	個人	1	資料実見・写真撮影
43	2月13日・15日	個人	1	資料実見・写真撮影
44	2月13日	個人	2	資料実見・写真撮影
45	2月13日	個人	2	図書閲覧
46	2月14日	個人	1	図書閲覧
47	2月15日	山田町教育委員会	1	資料返却
48	2月20日	個人	1	図書閲覧
49	2月22日	宮古市教育委員会	1	遺物貸出
50	2月26日	文化庁	1	資料返却
51	2月18日	宮古市教育委員会文化課埋蔵文化財センター	1	資料貸出
52	3月12日	地底の森ミュージアム	1	資料実見・写真撮影
53	3月22日	テレコムスタッフ	5	資料実見・撮影
54	3月25日～27日	個人	1	資料実見・写真撮影
55	3月26日	宮古市教育委員会	1	資料返却
計 55 件			78 名	

●現地説明会・現地公開

表 12 現地説明会・現地公開

No.	遺跡名	所在地	月 日	種別	人数	遺跡内容（時代区分、遺構の内容）
1	北日詰城内 I	紫波町	7月28日	説明会	96	中世～近世 工房跡 3, 土坑 11, 井戸跡 1, 溝跡 1, かわらけ, 中近世陶磁器, 縄文土器
2	南日詰大銀 II	紫波町	7月28日	説明会	96	古代～中世 掘立柱建物跡 30, 柱穴 499, 竪穴建物跡 1, 溝跡 3, 土坑 25, カマド状遺構 5, 中国産白磁, 渥美焼等国産陶器, 土師器, 須恵器
3	下村	普代村	9月22日	説明会	54	縄文時代中期 竪穴住居跡 8, 土坑 9
4	板橋 II	洋野町	10月13日	説明会	70	縄文時代後期 竪穴住居跡 12, 陥し穴状遺構 31, 土坑 18
5	万丁目	花巻市	10月27日	説明会	105	古代～中世 掘立柱建物跡 168 (柱穴 4200), 中世の竪穴建物跡 8, カマド状 遺構 24, 井戸跡 1, 溝跡 19, 池跡 1, 土坑 82, 古代の竪穴建物跡 3, 縄文時代の炉跡 1, 陥し穴 17, 中世陶磁器, かわらけ, 茶臼, 銭, 鉄鏃, 土師器, 縄文土器
計 5 回					421 名	

●写真の貸し出し

表 13 写真貸出一覧

No.	月	貸出先（申請者）	目的	遺跡名	資料内容	点数	点数
1	4月	国立歴史民俗博物館	総合展示第1展示室において、 パネル等を使用	中半入遺跡	遺物写真	デジタルデータ	2
2	4月	大安場史跡公園管理センター	企画展のパネル・パンフレットに掲載	中半入遺跡	遺物写真	デジタルデータ	1

No.	月	貸出先(申請者)	目的	遺跡名	資料内容	点数	点数
3	4月	朝日出版	『縄文折り紙(仮)』に掲載	長倉Ⅰ遺跡	遺物写真	デジタルデータ	3
4	4月	岩手県立博物館	【土曜博物館】に掲載	島田Ⅱ遺跡	遺物写真	デジタルデータ	5
5	5月	NPO法人国際縄文学協会	『J OMON』に掲載	曲田Ⅰ遺跡	遺構・遺物写真	デジタルデータ	3
6	5月	奥州市教育委員会	「発掘された奥州市展 2018」の展示・パンフレットに掲載	蛇蜒蛆遺跡他Ⅰ遺跡	遺構・航空写真	デジタルデータ	5
7	5月	元興寺文化財研究所	「発掘された日本列島 2018 展」の解説パネルに使用	伏津館遺跡	遺物X線写真	デジタルデータ	1
8	6月	花巻市総合文化財センター	企画展の展示資料及びホームページ等掲載	古館Ⅱ遺跡他Ⅰ遺跡	遺構写真・遺構配置図	デジタルデータ	9
9	6月	株式会社 小学館	『ニッポンの国宝 100』に掲載	山王山遺跡	遺物写真	デジタルデータ	1
10	6月	東北歴史博物館	「タイムスリップ!縄文時代」の展示資料と図録に掲載	大日向Ⅱ遺跡	遺構写真	デジタルデータ	1
11	7月	古代歴史文化協議会	『玉-古代を彩る至宝-』に掲載	中半入遺跡	遺物写真	デジタルデータ	1
12	7月	株式会社 J R 東日本企画	「岩手講座」配布資料に掲載	柳之御所跡	分析・遺構写真	デジタルデータ	17
13	7月	花巻市博物館	「花巻の遺跡」展示及図録・広報物等に掲載	安塔屋敷遺跡	航空・遺構・遺物写真	デジタルデータ	56
14	7月	八木光則氏	『いわて民衆史発掘』挿図として掲載	萩内遺跡他Ⅱ遺跡	遺構・遺物写真	デジタルデータ	3
15	8月	岩手県立博物館	【県博日曜講座】のミニ展示のパネルに使用	島田Ⅱ遺跡他Ⅱ遺跡	遺構写真	デジタルデータ	6
16	8月	岩手県立博物館	日本鉄鋼協会講演大会と【県博日曜講座】の発表時の投影とレジメ資料に掲載	山ノ内Ⅲ遺跡	遺構写真	デジタルデータ	45
17	8月	名久井文明氏	『民俗考古学の発見』に掲載	新田Ⅱ遺跡	遺物写真	デジタルデータ	1
18	9月	一関市博物館	企画展で放映の映像に使用	清水遺跡他Ⅰ遺跡	航空・遺物写真	デジタルデータ	18
19	9月	大泰司統氏	『出土品が語る北海道縄文の暮らしと文化』に掲載	宿戸遺跡	遺構写真	デジタルデータ	1
20	9月	都鳥地区基盤整備施行委員会	都鳥地区基盤整備事業完工記念誌に掲載	作屋敷遺跡他Ⅱ遺跡	遺構写真	デジタルデータ	10
21	10月	矢巾町教育委員会	徳丹城総括報告書に掲載	徳丹城跡	遺構・遺物写真	デジタルデータ・アルバム	70
22	10月	明石書店	『地図でみるアイヌの歴史』に掲載	柳之御所跡	遺物写真	デジタルデータ	1
23	11月	株式会社オリンピア企画	『森林と人の関わり』に掲載	萩内遺跡	遺物写真	デジタルデータ	1
24	11月	NHK 仙台放送局	NHK 総合テレビ『みちたん』で紹介	長倉Ⅰ遺跡	遺物写真	デジタルデータ	1
25	12月	講談社	『縄文時代の歴史』に掲載	西田遺跡	遺構写真	デジタルデータ	1
26	12月	雄山閣	『季刊考古学』146号に掲載	上台遺跡他Ⅰ遺跡	遺構写真	デジタルデータ	2
27	12月	イオンモール盛岡南	復興発掘調査パネル展に展示		遺構・遺物写真	写真パネル	20
28	1月	八幡平市立博物館	平成30年度冬期トピック展に使用	野駄遺跡他Ⅰ4遺跡	遺構写真	デジタルデータ	34
29	1月	稲敷市立歴史民俗資料館	平成30年度館報内小論考に使用	萩内遺跡	遺物写真	デジタルデータ	1
30	1月	宮古市教育委員会	宮古市遺跡調査報告会に使用	千徳城遺跡群	遺構写真	デジタルデータ	24
31	2月	長井市教育委員会	長井市史第1巻「原始・古代、中世」編に使用	柏山館跡	遺物写真	デジタルデータ	10
32	2月	洋野町教育委員会	洋野町広報に調査成果を紹介	宿戸遺跡	遺構・遺物写真	デジタルデータ	3
33	2月	株式会社ジャパン通信情報センター	『文化財発掘出土情報』2019年4月～5月号「各地の動向」に掲載	南日詰大銀Ⅱ遺跡	現地説明会資料	デジタルデータ	1
34	2月	吉川弘文館	『わくわく!探検 れきはく日本の歴史1 先史・古代』に掲載	中半入遺跡	遺物写真	デジタルデータ	1

No.	月	貸出先(申請者)	目的	遺跡名	資料内容	点数	点数
35	3月	一戸町教育委員会	『北の縄文・環状列石』に掲載するため。	下村B遺跡	遺構・遺物写真	デジタルデータ	6
36	3月	山川出版社	『図説 歴史散歩事典』に掲載するため。	塩ヶ森I・II遺跡	遺物写真	デジタルデータ	1
計 36 件 366 点							

4 外部協力・執筆

(1) 講演・研究発表・報告・会議・指導

表 13 講演・研究発表・報告・会議・指導等

No.	主催者	派遣場所	月日	内容	職	氏名
1	釜石市教育委員会	釜石市役所	7月13日	平成30年度第1回釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会	主幹兼課長補佐	金子佐知子
2	花巻市教育委員会	花巻市生涯学園都市会館(まなび学園)	1月19日	花巻の遺跡を学ぶ会講演会「万丁目遺跡で発見した中世居館」	期限付調査員	山川 純一
3	釜石市教育委員会	釜石市役所	2月6日	平成30年度第2回釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会	主幹兼課長補佐	金子佐知子
4	福島大学行政政策学類考古学研究室	福島県郡山市郡山市民プラザ	2月28日	シンポジウム「古墳分布北縁地域の実態と交流」研究発表「北上川中流域における古墳時代中期社会の動向」	課長補佐	高木 晃
5	宮古市教育委員会	崎山公民館多目的ホール	3月3日	平成30年度宮古市遺跡報告会(千徳城遺跡群の調査について)	文化財調査員	野中 裕貴

(2) 執筆

表 14 執筆

No.	依頼元	出版物	月日	内容	職	氏名
1	東北日本の旧石器文化を語る会	東北日本の旧石器時代	5月	岩手県における旧石器時代から縄文時代草創期に相当する石器群の変遷と分析	文化財専門員	村木 敬
2	日本考古学協会	日本考古学年報 69 (2016年度版)	5月21日	各都道府県の動向 3. 岩手県	文化財専門員	村田 淳
3	高志書院	北奥羽の古代社会 土器変容・竪穴建物と集落の動態	2月15日	古代北東北における高台付供膳具	文化財専門員	福島 正和
4	北東北古代集落遺跡研究会	北奥羽の古代社会 土器変容・竪穴建物と集落の動態	2月15日	東北地方北部出土の須恵器壺・瓶類	文化財専門員	村田 淳
5	福島大学行政政策学類考古学研究室	古墳分布北縁地域の実態と交流	2月23日	北上川中流域における古墳時代中期社会の動向	課長補佐	高木 晃
6	一般社団法人岩手県文化財愛護協会	いわて 文化財	2月28日	被災地の発掘調査現場から⑩サンニヤⅢ遺跡	文化財専門員	菊池 貴広
7	岩手考古学会	岩手考古学第30号	3月29日	胆江地域における奥州藤原氏時代の遺跡(下)	文化財専門員	村田 淳
8	花巻市博物館	花巻市博物館研究紀要第13号	3月29日	花巻城の研究 三之丸における遺構・遺物の検討	文化財専門員 八戸市博物館 花巻市博物館	村田 淳 中村 隼人 高橋 静歩

公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員名簿（平成30年度）

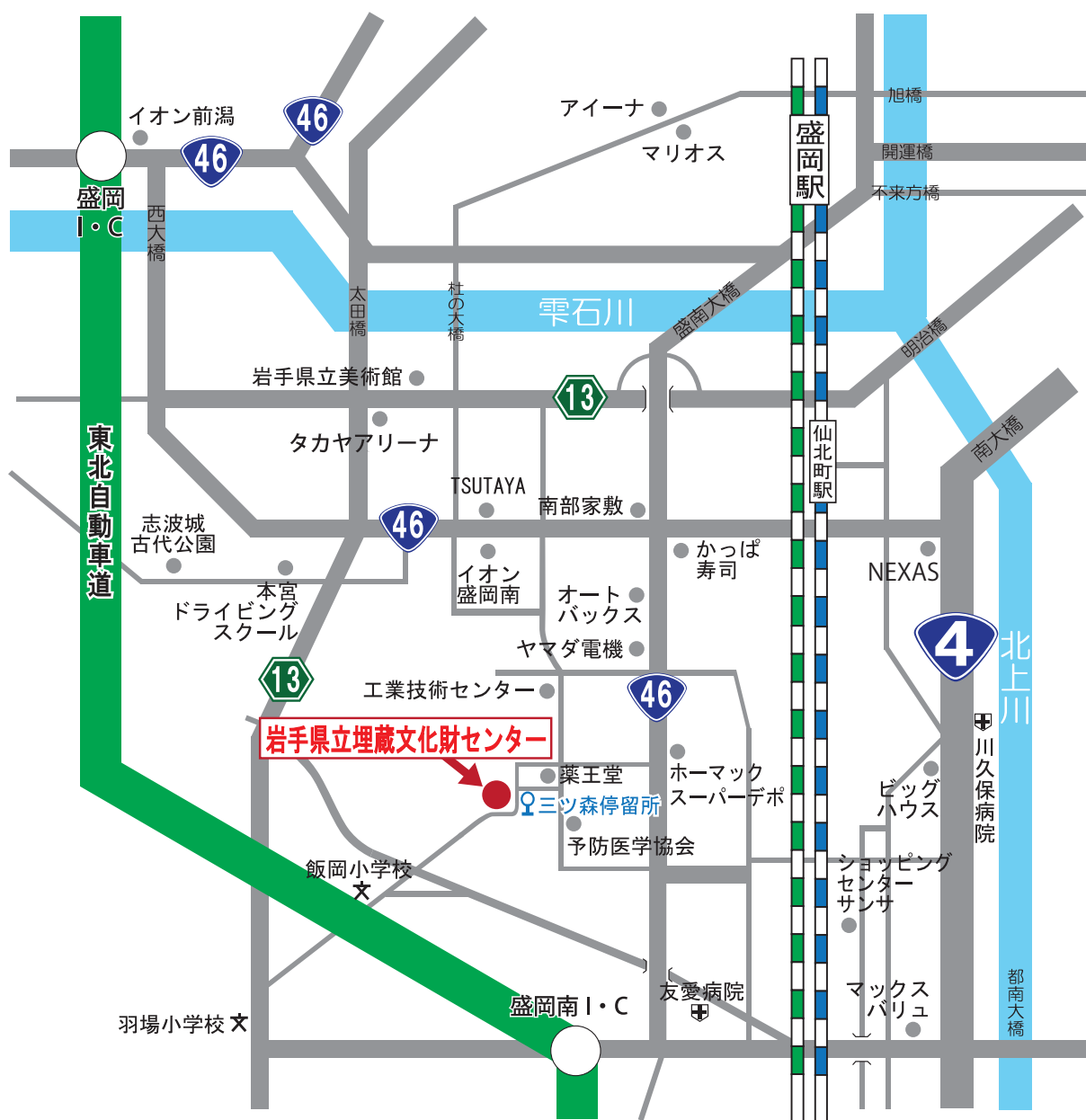
理事兼所長 佐々木一成
副所長兼調査課長 斎藤 邦雄

〔総務課〕

総務課長	猪久保健一	総務事務員	佐々木真貴子
主任主査	吉田 秀幸	〃	舘澤 彩
〃	中嶋 賢一	〃	武田 秀徳
主査	松尾 健生	〃	築田 智恵

〔調査課〕

副所長兼調査課長	斎藤 邦雄	文化財専門員	村田 淳
主幹兼課長補佐	金子佐知子	〃	小林 弘卓
課長補佐	星 雅之	文化財調査員	野中 裕貴
〃	高木 晃	期限付調査員	光井 文行
主任文化財専門員	羽柴 直人	〃	遠藤 修
〃	阿部 勝則	〃	河村 美佳
〃	杉沢昭太郎	〃	船渡 耕己
〃	溜 浩二郎	〃	藤田 崇志
〃	村上 拓	〃	佐々木昭太
文化財専門員	菊池 貴広（県派遣）	〃	戦場 由裕
〃	丸山 直美	〃	川村 英
〃	村木 敬	〃	山川 純一
〃	西澤 正晴	〃	出町 拓也
〃	福島 正和	〃	恵津森義行
〃	北村 忠昭	〃	古川 健
〃	須原 拓	〃	村上 千華
〃	八木 勝枝	調査事務員	高橋 千里
〃	川又 晋	〃	篠原 理恵
〃	北田 勲	〃	吉岡 由哲
〃	村上 絵美		



アクセス

- 東北新幹線盛岡駅、JR 東北本線仙北町駅下車
- 盛岡駅発岩手県交通バス飯岡線湯沢団地經由矢巾営業所行き三ツ森停留所下車
- 仙北町駅西口より徒歩約 30 分
- 東北自動車道盛岡南インターチェンジより車で 10 分

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020 - 0853 岩手県盛岡市下飯岡 11 地割 185 番地

TEL (019) 638-9001

FAX (019) 638-8563

E-mail アドレス i-maibun@echna.ne.jp

ホームページ <http://www.iwate-maibun.jp>

年 報

平成 30 年度版

発 行 令和元年 7 月 16 日

発 行 (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒 020 - 0853 岩手県盛岡市下飯岡 11 地割 185 番地
TEL (019) 638 - 9001
FAX (019) 638 - 8563
